

TruPhase の活用(14)  
—音源の位相確認(14)—

1. はじめに

TruPhase の位相反転機能を利用して音源の位相確認を行っていますが、前報(13)に引き続き CD の位相確認を行います。

2. TruPhase の位相反転機能による音源の位相確認計画

前報(8)と同様、前報(1)と同じ経路で CD の位相確認を行いつつ、バッハの CD を聴いていきます。

CD ドライブ→fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC+→TruPhase  
→300B シングルアンプ

試聴した CD 音源は、バッハの作品で下記のとおりです。

hyperion CDA68146

J.S.Bach Goldberg Variations

Angela Hewitt

SONY SICC 30037

J.S.Bach Goldberg Variations

Glenn Gould

Pooh's Hoop PCD4722

J.S.Bach Goldberg Variations

塚谷水無子

3. TruPhase の位相反転機能による音源の位相確認結果

上記 CD について、Brooklyn DAC+での位相反転と TruPhase での位相反転の結果が同じになるかどうかは焦点です。

音量調整を容易にするため、Brooklyn DAC+では位相反転させず、TruPhase で位相反転させた状態で TruPhase のヴォリュームを固定し、TruPhase での位相反転では、Brooklyn DAC+でのヴォリュームでの調整だけにしました。

そして、Brooklyn DAC+では位相反転させないで、TruPhase での位相反転有り無しで聴いていきます。

Angela Hewitt 盤は、位相反転させますと、定位が曖昧になり、過度に広がり感が出てきます。位相反転させないと、定位がしっかりして、FAZIOLI の柔らかい音色が楽しめます。

Glenn Gould 盤は、位相反転させますと、定位が曖昧になり、余分な響きがまとわりついてきます。位相反転させないと、定位がしっかりして、Gouldらしい強弱の付け方や独特のフィレーシングが明瞭になり、ハミングの様子も中央にしっかり聴きとれます。

塚谷水無子盤は、位相反転させますと、定位が曖昧になり、音の芯がぼやけます。位相反転させないと、定位がしっかりして、ベーゼンドルファーらしい重量感のある音で、間接音も豊かです。

#### 4. まとめ

TruPhase での位相反転と Brooklyn DAC+での位相反転の結果は、Angela Hewitt 盤、Glenn Gould 盤、塚谷水無子盤のいずれも正相であることが分りました。

以上